

算数オンライン塾 3月6日の問題 解説

小さい順に並べると ABCD ですから、和の小さい順は

$A+B$ $A+C$

は決まります。

また大きい順では

$C+D$ $B+D$

は決まります。

問題は $B+C$ 、 $A+D$ はどちらが大きいかは決まりません。

$A+B=18$ $A+C=21$ $C+D=33$ $B+D=30$

B が奇数であれば A が奇数となり、 C は偶数ですから $B+C$ は奇数です。

B が偶数であれば、 A が偶数となり、 C は奇数ですから、 $B+C$ は奇数です。

いずれにしても $B+C$ が奇数になるので

$B+C=23$ $A+D=28$ が決まります。

したがって B と C では C の方が 3 大きいので $(23+3) \div 2=13$ が C

B が 10。 A が 8 D が 20 と決まります。

(答え) A 8 B 10 C 13 D 20

(答え) 32.5m